

Graduation Policy (GP) ver.5

記入者氏名	
記入年月日	2006年4月1日
学部・研究科名	理学部
学科・専攻等名	生物・化学科
コース等名	生物学コース, 化学コース
細分名	
理学部・理工学研究科(理系専攻)の教育目的(具体的に記述・箇条書き)	
理学部・理工学研究科(理系専攻)の Graduation Policy(具体的に記述・箇条書き)	
生物・化学科の教育目的(具体的に記述・箇条書き)	
<p>1. 幅広い教養と生物科学、化学およびこれらの融合領域分野の専門知識・技術を修得する人材を育成する。</p> <p>2. 論理的思考力と柔軟な発想力を培い、広い視点から社会で活躍できる人材を育成する。</p>	
生物・化学科の Graduation Policy(具体的に記述・箇条書き)	
<p>1. 生物学・化学の基礎を身につける。</p> <p>2. 生物学・化学の基礎科目を習得後、生物学コースと化学コースのいずれかを2年次に選択し、各コースの講義や実験を履修することにより、高度な専門的知識と技術を習得する。</p> <p>3. 4年次には、生物学コースおよび化学コースのいずれかの研究室に所属し、より高度な専門的知識と技術を習得する。</p>	
生物学コースの教育目的(具体的に記述・箇条書き)	
<p>1. 化学と生物科学の基礎を学び、生物の特性を分子レベルから個体レベルまで総合的に理解できる人材を育成する。</p> <p>2. 現代生物科学の発展に対応して、社会で活躍できる人材を養成する。</p> <p>3. 生物科学や化学に興味をいだき、自然のしくみを解明したいという欲求に基づいて勉学に励み、基礎学力を身につけた人材を養成する。</p>	

4. 生物科学の既存の専門分野のみならず、融合領域としての生物・化学分野において、社会のニーズに応えられる人材を養成する。

5. 自然環境問題に関心を持ち、理解できる人材を養成する。

生物学コースの Graduation Policy (具体的に記述・箇条書き)

1. 化学の基礎を学んだ上で、生物科学の基礎と専門知識を身につける。

2. 生命現象を分子、細胞および個体レベルで理解できる能力を身につける。

3. 生物科学の分析手法を修得し、社会で応用できる能力を身につける。

4. 生物学演習、文献講読を通して、国際化した社会で活躍するための専門英語を身につける。

5. 学生実験、特別研究を通して、自ら主体的に問題を解決し、実践する能力を身につける。

6. 論理的に物事を考察し、記述できる能力、プレゼンテーション能力を身につける。

7. 自然環境問題を理解できる知識、能力を身につける。

化学コースの教育目的 (具体的に記述・箇条書き)

1. 物質の性質や変化のしくみを原子や分子のレベルで理解できる人材を育成する。

2. 生命に関係する物質について化学の視点から理解できる教育を行う。

3. 新しい機能を有する物質を創出する視点や能力の獲得に向けた教育を行う。

4. 修得した知識や技能を用い、環境問題や生命に関係する問題の解決をめざす人材を育成する。

化学コースの Graduation Policy (具体的に記述・箇条書き)

1. 生物科学の基礎を学んだ上で、化学の基礎と専門知識を身につける。

2. 物質の性質や変化のしくみを原子や分子のレベルで理解できる能力を身につける。

3. 化学数学や化学英語の演習を通して、数学的手法や専門英語の能力を身につける。

4. 分析化学実験、物理化学実験、有機化学実験を通して、これらの分野の技能を習得するとともに、問題を解決する能力を身につける。

5. 特別研究に取り組むことにより最先端の化学に触れ、自ら主体的に考えて新しい技術や化合物を創出する能力を身にする。

6. 論理的に物事を考察し、記述できる能力、プレゼンテーション能力を身につける。

7. 自然環境問題や生命現象を理解できる知識、能力を身につける。